

TM2  
ディーエムツーデュライト  
*Dulight*

---

TM2 Dulight 取扱説明書

---

文書番号:MDPD202103004 Ver.1.4

施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよくご理解したうえで、本書の内容（指示）をお守り頂き取扱いをお願いします。

※太陽光発電システムの取扱いについては、設置されたシステムメーカーの取扱説明書をご確認ください。

安全に関する記号	記号の意味
	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、又は物的損害のおそれのある内容を示しています。
	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

※製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

**警告**

## 1 / 安全のために必ず守ってください

- 製品仕様を超える降雪時には雪おろしが必要です。  
太陽電池モジュール（屋根）が雪の重さでつぶれ落ちてケガをするおそれがあります。  
製品仕様ごとの積雪を超えないうちに雪をおろしてください。  
※積雪量は、積雪1cmあたり20N/m<sup>2</sup>（約2kgf/m<sup>2</sup>）として設計しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。  
※雪おろしの際、金属製スコップ等を使用すると太陽電池モジュール（屋根）が破損する原因となりますのでプラスチック製スコップやゴム製ベラ等で、静かに行なってください。  
※雪おろしの際は、太陽電池モジュールのアルミフレームに体重をかけ、ガラス面には直接体重をかけないようにしてください。
- 積雪時・降雪時の落雪にご注意ください。  
太陽電池モジュールの下は勢いよく雪が落ちるおそれがあり危険です。
- 製品に直接電線を巻き付けしないでください。漏電により感電するおそれがあります。
- 雪おろしや点検時以外は太陽電池モジュール・架台の上に乗らないでください。  
また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。
- 太陽電池モジュール・架台に頭などをぶつけないように注意してください。ケガをするおそれがあります。

## ご注意

# 2 / ご使用にあたって

- 製品に火を近づけないでください。
- 当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
- ネジ・ボルト・ナット等は絶対にゆるめないでください。
- 年1回程度の定期点検を行ない、ネジ・ボルト類のゆるみを締め直してください。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- カーポートは簡易型車庫です。物置、遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的としてみだりに改造、変更はしないでください。
- 車両の入出庫の際に、支柱にぶつけない様にご注意ください。
- 支柱表面の亜鉛めっきに稀にバリが残っています。衣服の引っ掛けにご注意ください。
- 太陽電池モジュール（屋根）の目地には雨だれ防止用のレインモールが設置されており、実用的な防水性能を有していますが、雨量、地成り設置角度、風速が大きい場合、また、積雪後の雪解け時に雨垂れが発生することがあり、完全防水とはなっておりません。

## お願い

- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- 太陽電池モジュールの上に落ち葉などが付着した場合、発電量全体の低下につながる可能性がありますので、長期的に付着しているものは、定期的にゴムベラ等で静かに取り除いてください。
- 上棧のレール部分に異物が詰まると、防水性能が低下しますので定期的な清掃をお勧めいたします。

# 3 / お手入れについて

## (1) 本体の清掃

1年に2～3回は水洗いをして拭きとってください。

- a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。
- b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

## お願い

- 中性洗剤を原液のまま使用しないでください。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。材料が変形したり、塗料がはげることがあります。

## (2) 点検とキズの補修

## お願い

- 定期的（年一回程度）にボルトのゆるみを点検し、締め直してください。
- 支柱表面にあやまってキズをつけた場合は、常温亜鉛めっき（例：ROVAL）で補修してください。放置すると腐食の原因になります。